

情報共有

(2枚 非管理メモ)

NISA 社 ← プラスサイト

東京電力株式会社

9/14 14:30 広報班

プラント状況(本店レク) 議事メモ

取扱注意

公開不可

日時：平成23年9月14日(水) 11:00~11:30

場所：東京電力本館3階大会議室

先方：記者約25名(カメラ5台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
- ・ 福島第一原子力発電所2号機 原子炉への注水ライン追加後(給水系→給水系+炉心スプレイ系)の流量調整について

よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. 共用プールの電源停止について、6日間停止する理由は電源盤の取替えのためか。

A. 3月11日の震災に伴う交流電源喪失以降、外部電源による復旧を進めてきたが、共用プール建屋地下の電源盤取替えを実施するにあたり、共用プール建屋の大物搬入路入り口に設置されている共用プールパワーセンター他が盤の搬出入の際に作業干渉することから移設を実施するもの。作業が6日間であるので、その間、停止する予定。

Q. 工事期間中のバックアップ電源について、詳しく教えていただきたい。

A. 冷却は止まるが、上昇後のプール温度は57℃なので、温度制限値の65℃や100℃まで余裕はある。その後、万一復旧できないようであっても、仮設電源や消防車を用意しており、そちらから補給する予定。

Q. 65℃を制限値に設定している根拠は。

A. コンクリートの長期的な健全性を確保する観点から設定した値である。

Q. 65℃以上になると、コンクリートに影響があるのか。

A. コンクリートの劣化が進むという知見があるが、65℃を超えても直ちに影響があるわけではない。

Q. 1号機のPCV サンプリングについて、前回とサンプリングの条件が違うのか。

A. 1回のサンプリング結果に加え、より詳細な評価、検討のため今回のサンプリングを行った。2号機のサンプリングをした際にサンプリング配管内の凝縮水を採取分析しているが、1号機では凝縮水を採取できていないため、2号機で使用したサンプラーを使用してサンプリングを行い、凝縮水を採取分析したいと考えている。

Q. 予定の抽出量は。

A. ガスは 14ml 入るガスバイアル瓶を数本用意する。凝縮水が出た場合 350ml の容器を用意しているのでそちらに入れる予定。

Q. 朝日新聞の件について、報道のような事実はないということだが、電気料金値上げや、社員の賞与を震災前に戻す事はないという事か。

A. 原子力の低稼働により、燃料費の負担が大幅に増加し、23 年度第 1 四半期の決算で経常損失を計上するなど、収支は極めて厳しい状況であり、これに対応することが今後の大きな課題であることは事実。当面は第三者委員会での議論を踏まえて経営の合理化、効率化を進めることで、費用削減や資金確保に取り組んでいくことが不可決であると考えている。今のところ、料金改定について第三者委員会に伝えた事実はなく、賞与についても 3 年を目処に震災前の基準に戻すという議論は進んでいない。

Q. 2号機について、炉心スプレイ系を行うことでどのような効果があるのか。

A. 今までは給水系による燃料下部からの蒸気冷却であったが、炉心スプレイ系により燃料上部から直接振りかける事になるので、より大きな冷却効果が見込まれる。

以上